

令和 6 年

# 三重県議会定例会会議録

( 12 月 19 日 )  
( 第 32 号 )



令和 6 年

# 三重県議会定例会会議録

## 第 32 号

○令和 6 年12月19日（木曜日）

---

### 議事日程（第32号）

令和 6 年12月19日（木） 午前10時開議

- 第 1 議案第124号から議案第158号まで  
〔委員長報告、採決〕
- 第 2 請願の件  
〔採決〕
- 第 3 意見書案第26号及び意見書案第27号  
〔採決〕
- 第 4 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 第 5 閉会中の継続審査の件

---

### 会 議 に 付 し た 事 件

- 日程第 1 議案第124号から議案第158号まで
- 日程第 2 請願の件
- 日程第 3 意見書案第26号及び意見書案第27号
- 日程第 4 常任委員会の調査事項に関する報告の件
- 日程第 5 閉会中の継続調査の件

---

### 会 議 に 出 欠 席 の 議 員 氏 名

出席議員 44名

1 番

龍 神 啓 介

2	番	辻	内	裕	也
3	番	松	浦	慶	子
4	番	荊	原	広	樹
5	番	伊	藤	雅	慶
6	番	世	古		明
7	番	吉	田	紋	華
8	番	石	垣	智	矢
9	番	山	崎		博
10	番	野	村	保	夫
11	番	田	中	祐	治
12	番	芳	野	正	英
13	番	川	口		円
14	番	喜	田	健	児
15	番	中	瀬	信	之
16	番	平	畑		武
17	番	中	瀬	古	初
18	番	廣		耕	太郎
19	番	倉	本	崇	弘
20	番	山	内	道	明
21	番	野	口		正
22	番	谷	川	孝	栄
23	番	石	田	成	生
24	番	村	林		聡
25	番	小	林	正	人
26	番	田	中	智	也
28	番	小	島	智	子
29	番	森	野	真	治
30	番	杉	本	熊	野

31	番	藤 田	宜 三
32	番	東	豊
33	番	長 田	隆 尚
35	番	服 部	富 男
36	番	津 田	健 児
37	番	中 嶋	年 規
38	番	青 木	謙 順
39	番	中 森	博 文
40	番	山 本	教 和
41	番	西 場	信 行
42	番	中 川	正 美
43	番	稲 垣	昭 義
44	番	日 沖	正 信
45	番	舟 橋	裕 幸
46	番	三 谷	哲 央
欠席議員 2名			
27	番	藤 根	正 典
34	番	今 井	智 広

---

職務のため出席した事務局職員の職氏名

事務局長	高 野	吉 雄
書 記 (事務局次長)	西 塔	裕 行
書 記 (議事課長)	中 村	晃 康
書 記 (議事課課長補佐兼班長)	橋 本	哲 也
書 記 (議事課係長)	長谷川	智 史
書 記 (議事課主任)	辻	詩保里

---

会議に出席した説明員の職氏名

知 事	一 見 勝 之
副 知 事	服 部 浩
副 知 事	野 呂 幸 利
危機管理統括監	清 水 英 彦
総 務 部 長	後 田 和 也
政策企画部長	小見山 幸 弘
地域連携・交通部長	長 崎 禎 和
防災対策部長	楠 田 泰 司
医療保健部長	松 浦 元 哉
子ども・福祉部長	枘 屋 典 子
環境生活部長	竹 内 康 雄
農林水産部長	中 野 敦 子
雇用経済部長	松 下 功 一
観 光 部 長	生 川 哲 也
県土整備部長	若 尾 将 徳
総務部デジタル推進局長	横 山 正 吾
地域連携・交通部スポーツ推進局長	藤 本 典 夫
地域連携・交通部南部地域振興局長	佐 波 齊
環境生活部環境共生局長	佐 藤 弘 之
県土整備部理事	佐 竹 元 宏
企 業 庁 長	河 北 智 之
病 院 事 業 庁 長	河 合 良 之
会計管理者兼出納局長	佐 脇 優 子
教 育 長	福 永 和 伸

公安委員会委員  
警察本部長

村田典子  
難波正樹

代表監査委員  
監査委員事務局長

伊藤隆  
大西毅尚

人事委員会委員  
人事委員会事務局長

北岡寛之  
天野圭子

選挙管理委員会委員

田中利佳

労働委員会事務局長

林幸喜

---

午前10時0分開議

## 開 議

○議長（稲垣昭義） ただいまから、本日の会議を開きます。

## 諸 報 告

○議長（稲垣昭義） 日程に入るに先立ち、報告いたします。

付託議案の審査報告書並びに請願審査結果報告書が所管の常任委員長から提出されましたので、お手元に配付いたしました。

次に、意見書案第26号及び意見書案第27号が提出されましたので、お手元に配付いたしました。

以上で報告を終わります。

---

## 環境生活農林水産常任委員会審査報告書

議案番号	件名
151	損害賠償の額の決定及び和解について
152	損害賠償の額の決定及び和解について
158	三重県総合文化センター等の指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

令和6年12月11日

三重県議会議長 稲垣 昭義 様

環境生活農林水産常任委員長 廣 耕太郎

## 医療保健子ども福祉病院常任委員会審査報告書

議案番号	件名
157	三重県聴覚障害者支援センターの指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

令和6年12月11日

三重県議会議長 稲垣 昭義 様

医療保健子ども福祉病院常任委員長 石田 成生

## 防災県土整備企業常任委員会審査報告書

議案番号	件名
147	工事請負契約について（一般国道422号（下地工区）道路改良（下地トンネル（仮称））工事）



148	工事請負契約の変更について（主要地方道桑名大安線（桑部橋）道路改良（橋梁上部工）工事）
150	工事協定締結の変更について（伊勢鉄道鈴鹿サーキット 稲生・徳田間14km300m付近で交差する主要地方道鈴鹿環状線（磯山バイパス）架道橋新設工事）
153	損害賠償の額の決定及び和解について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

令和6年12月12日

三重県議会議長 稲垣 昭義 様

防災県土整備企業常任委員長 中瀬 信之

### 教育警察常任委員会審査報告書

議案番号	件名
149	工事請負契約の変更について（大台警察署庁舎棟ほか建築工事）
154	損害賠償の額の決定及び和解について
155	損害賠償の額の決定及び和解について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

令和6年12月12日

三重県議会議長 稲垣 昭義 様

教育警察常任委員長 喜田 健児

## 総務地域連携交通常任委員会審査報告書

議案番号	件 名
1 5 6	三重県立熊野古道センターの指定管理者の指定について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

令和6年12月10日

三重県議会議長 稲垣 昭義 様

総務地域連携交通常任委員長 野村 保夫

## 予算決算常任委員会審査報告書

議案番号	件 名
1 2 4	令和6年度三重県一般会計補正予算（第3号）
1 2 5	令和6年度三重県県債管理特別会計補正予算（第1号）
1 2 6	令和6年度三重県国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
1 2 7	令和6年度三重県母子及び父子並びに寡婦福祉資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
1 2 8	令和6年度三重県立子ども心身発達医療センター事業特別会計補正予算（第1号）
1 2 9	令和6年度三重県就農施設等資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）
1 3 0	令和6年度三重県地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）
1 3 1	令和6年度三重県林業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）
1 3 2	令和6年度三重県沿岸漁業改善資金貸付事業特別会計補正予算（第1号）

1 3 3	令和6年度三重県中小企業者等支援資金貸付事業等特別会計補正予算（第1号）
1 3 4	令和6年度三重県港湾整備事業特別会計補正予算（第1号）
1 3 5	令和6年度三重県水道事業会計補正予算（第1号）
1 3 6	令和6年度三重県工業用水道事業会計補正予算（第1号）
1 3 7	令和6年度三重県病院事業会計補正予算（第1号）
1 3 8	令和6年度三重県流域下水道事業会計補正予算（第1号）
1 3 9	三重県安心こども基金条例の一部を改正する条例案
1 4 0	三重県手数料条例の一部を改正する条例案
1 4 1	三重県警察関係手数料条例の一部を改正する条例案
1 4 2	三重県県税条例の一部を改正する条例案
1 4 3	公立学校職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案
1 4 4	公立学校の会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例案
1 4 5	当せん金付証票の発売について
1 4 6	国営青蓮寺用水土地改良事業に係る償還に対する市町の負担について

本委員会において、上記の議案審査の結果、原案を可決すべきものと決定した。

よって、ここに報告する。

令和6年12月17日

三重県議会議長 稲垣 昭義 様

予算決算常任委員長 小島 智子

請願審査結果報告書

(新 規 分)

環境生活農林水産常任委員会関係

受理 番号	件 名	提 出 者	紹 介 議 員	審 査 結 果
請34	私学助成について	津市上浜町一丁目293番地 の4 三重県私立高等学校・ 中学校・小学校 保護者会連合会 会長 北村 浩文 ほか20名	龍 神 啓 介 荆 原 広 樹 吉 田 紋 華 石 垣 智 矢 芳 野 正 英 喜 田 健 児 中 瀬 信 道 之 山 内 林 明 村 林 聡 小 島 智 子 長 田 隆 尚	採択
請35	養鶏経営の維持及び発展について	津市桜橋1丁目649番地 農業共済会館1階 一般社団法人三重県畜 産協会内 三重県養鶏協会 会長 川北 貞男	龍 神 啓 介 荆 原 広 樹 石 垣 智 矢 芳 野 正 英 川 口 円 之 中 瀬 信 道 明 山 内 林 聡 村 林 智 子 小 島 智 宜 藤 田 隆 尚 長 田 川 正 美	採択

意見書案第26号

私学助成の充実を求める意見書案

上記提出する。

令和6年12月9日

提 出 者

環境生活農林水産常任委員長

廣 耕太郎

## 私学助成の充実を求める意見書案

私立学校は、建学の精神に基づく個性豊かで特色ある教育を行い、教育の振興及び発展に寄与している。そのため、将来を担う子どもたちが、家庭の経済状況にかかわらず、多様な教育方針の中から、本当に進学したい学校を安心して選択できるような教育環境を整えることが重要である。

しかしながら、小学校、中学校及び高等学校における公私間の教育費負担の格差は大きく、私立学校に修学する生徒等の保護者は大きな経済的負担を強いられている。

特に、私立高等学校については、国の就学支援金制度に本県独自に上乗せして、年額最大12,000円の授業料支援を実施しているものの、年収約910万円未満世帯まで授業料が無償化されている公立高等学校とは依然として格差が生じている。

また、近年のエネルギー、食料等の物価高騰及び少子化の影響のほか、教員の待遇改善、ICTの環境整備への対応等を進める必要があることから、私立学校をめぐる経営環境は厳しい状況にある。

したがって、公私間の教育費に係る公費負担格差の解消及び私立学校に修学する生徒等の保護者に係る経済的負担の軽減を図る必要がある。

よって、本県議会は、国に対し、下記の措置を講じるよう強く求める。

### 記

- 1 現行の私学助成に係る国庫補助制度を堅持し、一層の充実を図ること。
- 2 就学支援金制度の拡充強化を図り、私立高等学校については、年収約910万円未満世帯まで授業料が実質無償化となるよう支援の拡充を行うこと。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、文部科学大臣

---

意見書案第27号

配合飼料価格安定制度の改善を求める意見書案

上記提出する。

令和6年12月11日

提出者

環境生活農林水産常任委員長

廣 耕太郎

配合飼料価格安定制度の改善を求める意見書案

長期的な円安、物価高騰等の影響による配合飼料価格の高止まりが依然として続いているため、生産コストに占める配合飼料費の割合が高い畜産業においては、畜産物の生産コストが大きく増加している。

一方で、生産コストの増加分の畜産物への価格転嫁は進んでいないことから、畜産農家の経営を取り巻く環境は厳しい状況にある。

国では、配合飼料価格の急激な上昇が畜産農家の経営に及ぼす影響を緩和するため、配合飼料価格安定制度による畜産農家への補てんが行われている。しかしながら、配合飼料価格が長期的に高止まりしている状況においては補てん金が交付されないなど、現行の制度では、現状に対する十分な対策となっていない。

したがって、配合飼料価格の高止まりが畜産農家の経営に及ぼす影響を緩和するため、補てん金の算定方法の見直しなど、配合飼料価格安定制度を改善する必要がある。

よって、本県議会は、国に対し、十分な財源を確保した上で、配合飼料価格の高止まりによる影響を踏まえた配合飼料価格安定制度の改善を行うよう強く求める。

以上のとおり、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和 年 月 日

三重県議会議長 稲垣昭義

(提出先)

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

---

## 委員 長 報 告

○議長（稲垣昭義） 日程第1、議案第124号から議案第158号までを一括して議題といたします。

本件に関し、所管の常任委員長から順次、委員会における審査の経過と結果について報告を求めます。廣 耕太郎環境生活農林水産常任委員長。

〔廣 耕太郎環境生活農林水産常任委員長登壇〕

○環境生活農林水産常任委員長（廣 耕太郎） 御報告申し上げます。

環境生活農林水産常任委員会に審査を付託されました 議案第151号損害賠償の額の決定及び和解について外2件につきましては、去る12月9日及び11日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会ですらに議論のありました事項について申し述べます。

三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例及び本条例に基づく三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する基本計画についてであります。

今年度、国において、農政の基本理念や政策の方向性を示す食料・農業・農村基本法が制定から25年ぶりに改正されました。この改正を受け、現在、

県では、三重県食を担う農業及び農村の活性化に関する条例の改正及び条例に基づく基本計画の見直しに向けた検討を進めており、今回その最終案が示されたところです。

近年、食料、農業及び農村を巡る諸情勢は、世界の食料需給の変動、地球温暖化の進行、人口減少などにより大きく変化をしております。

このような中、県民の食料安全保障を確保するためには、農業生産を拡大し、県の食料自給率を高め、不測の事態にも対応できる活力ある三重県の農業・農村を確立していくことが重要であると考えます。

県当局におかれては、令和5年度の食料自給総合対策調査特別委員会の提言も踏まえながら、条例及び基本計画について、県内農業生産の拡大と食料自給率の向上を目指す内容とするとともに、基本計画においては、県の食料自給率の数値目標を定めることを検討されるよう要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 石田成生医療保健子ども福祉病院常任委員長。

〔石田成生医療保健子ども福祉病院常任委員長登壇〕

○医療保健子ども福祉病院常任委員長（石田成生） 御報告申し上げます。

医療保健子ども福祉病院常任委員会に審査を付託されました議案第157号三重県聴覚障害者支援センターの指定管理者の指定についてにつきましては、去る12月11日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 中瀬信之防災県土整備企業常任委員長。

〔中瀬信之防災県土整備企業常任委員長登壇〕

○防災県土整備企業常任委員長（中瀬信之） 御報告申し上げます。

防災県土整備企業常任委員会に審査を付託されました議案第147号工事請負契約について（一般国道422号（下地工区）道路改良（下地トンネル（仮称））工事）外3件につきましては、去る12月12日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもつ



て原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 喜田健児教育警察常任委員長。

〔喜田健児教育警察常任委員長登壇〕

○教育警察常任委員長（喜田健児） 御報告申し上げます。

教育警察常任委員会に審査を付託されました議案第149号工事請負契約の変更について（大台警察署庁舎棟ほか建築工事）外2件につきましては、去る12月10日及び12日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

なお、この際、本委員会で特に議論のありました事項について申し述べます。

フリースクールへの支援についてであります。

コロナ禍による生活環境の変化により生活リズムが乱れやすい状況が続いたことや、学校に対する保護者や子どもたちの意識の変化の影響などにより、不登校児童生徒数は年々増加し、平成10年度以降、最多となっています。不登校児童生徒にとって、民間施設であるフリースクールは多様な学びの選択肢の一つですが、その運営基盤が脆弱なこと等の課題を抱えています。

県当局におかれては、フリースクールの経営支援を視野に認証制度を検討するなど、関係部局が積極的に連携して、学校になじめない子どもたちの学びの保障と将来の社会的自立に向けて、しっかりと取り組むよう要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 野村保夫総務地域連携交通常任委員長。

〔野村保夫総務地域連携交通常任委員長登壇〕

○総務地域連携交通常任委員長（野村保夫） 御報告申し上げます。

総務地域連携交通常任委員会に審査を付託されました議案第156号三重県立熊野古道センターの指定管理者の指定についてにつきましては、去る12月

10日に委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 小島智子予算決算常任委員長。

〔小島智子予算決算常任委員長登壇〕

○予算決算常任委員長（小島智子） 御報告申し上げます。

予算決算常任委員会に審査を付託されました議案第124号令和6年度三重県一般会計補正予算（第3号）外22件につきましては、去る12月9日から12日に該当の分科会で詳細な審査を行った後、12月17日に本委員会を開催し、関係当局の出席を求め、慎重に審査いたしました結果、いずれも全会一致をもって原案を可決すべきものと決定いたしました。

次に、12月9日から12日に開催された各分科会で、特に議論のありました事項について、医療保健子ども福祉病院分科会委員長から報告がありましたので、申し述べます。

沖縄「三重の塔」苑内広場改修工事に係る契約についてであります。

沖縄県糸満市摩文仁にある戦没者慰霊施設の三重の塔は、三重県沖縄戦没者友の会発案の下、当時の知事を会長とする三重県戦没者沖縄慰霊塔建立委員会により、県と市町村の支出のほか、多くの団体や県民の皆様からの寄附を財源とし、昭和40年6月に整備されたもので、その後、委員会の解散に伴い三重県に譲渡され、県の施設として維持管理を行っているものです。

令和4年度から県が主催者となり慰霊式を開催していますが、苑内には慰霊式を行うための十分なスペースがなく、また段差等により高齢の御遺族の方々には利用しづらいことから、令和7年の戦後80年の機会を捉え、これらを解消するための改修工事に係る債務負担行為を計上しています。

この計画を進めるに当たり、当局におかれては、三重らしさが感じられ、宗教色なく、安全でより多くの方々が訪れ、戦没者に対する慰霊や平和への思いをつなげていくための祈りを捧げることのできる環境を整備されるよう要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 以上で委員長報告を終わります。

委員長報告に対する質疑並びに討論の通告は受けておりません。

## 採 決

○議長（稲垣昭義） これより採決に入ります。

議案第124号から議案第158号までの35件を一括して押しボタン式投票により採決いたします。

本案に対する委員長の報告はいずれも可決であります。本案をいずれも委員長の報告どおり決定することについて投票願います。

〔投票開始〕

○議長（稲垣昭義） 押し間違いはございませんか。

投票漏れはございませんか。

間もなく投票を終了いたします。

これにて投票を終了いたします。

〔投票終了〕

○議長（稲垣昭義） 投票の結果を報告いたします。

賛成 43

反対 0

よって、本案はいずれも委員長の報告どおり可決されました。

お諮りいたします。ただいまの議案第124号及び議案第138号の可決に伴い、計数を整理する必要が生じたので、会議規則第35条の規定により、議案第124号及び議案第138号に係る計数の整理を議長に委任されたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、計数の整理は議長に委任することに決定いたしました。

## 請 願 の 審 議

○議長（稲垣昭義） 日程第2、請願の件を議題といたします。

本件に関する環境生活農林水産常任委員会の審査の結果は、請願審査結果報告書のとおり、採択2件であります。

お諮りいたします。本件は、議事進行上、委員長報告を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認め、本件は委員長報告を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

## 採 決

○議長（稲垣昭義） これより採決に入ります。

請願第34号私学助成について及び請願第35号養鶏経営の維持及び発展についての2件を一括して押しボタン式投票により採決いたします。

本件をいずれも委員会の決定どおり採択することについて投票願います。

〔投票開始〕

○議長（稲垣昭義） 押し間違いはございませんか。

投票漏れはございませんか。

間もなく投票を終了いたします。

これにて投票を終了いたします。

〔投票終了〕

○議長（稲垣昭義） 投票の結果を報告いたします。

賛成 43

反対 0

よって、本件はいずれも委員会の決定どおり採択することに決定いたしました。

なお、採択されました請願につきましては、お手元に配付のとおり、処理経過及び結果の報告を求めるといたしましたので御了承願います。

---

採択された請願で処理経過及び結果の報告を求めるもの  
環境生活農林水産常任委員会関係

請願第34号 私学助成について

請願第35号 養鶏経営の維持及び発展について

---

### 意見書案審議

○議長（稲垣昭義） 日程第3、意見書案第26号私学助成の充実を求める意見書案及び意見書案第27号配合飼料価格安定制度の改善を求める意見書案を一括して議題といたします。

お諮りいたします。本件は、議事進行上、いずれも趣旨説明並びに質疑を省略し、直ちに採決いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認め、本件はいずれも趣旨説明並びに質疑を省略し、直ちに採決することに決定いたしました。

### 採 決

○議長（稲垣昭義） これより採決に入ります。

意見書案第26号及び意見書案第27号の2件を一括して押しボタン式投票により採決いたします。

本案をいずれも原案のとおり決定することについて投票願います。

〔投票開始〕

○議長（稲垣昭義） 押し間違いはございませんか。

投票漏れはございませんか。

間もなく投票を終了いたします。

これにて投票を終了いたします。

〔投票終了〕

○議長（稲垣昭義） 投票の結果を報告いたします。

賛成 43

反対 0

よって、本案はいずれも原案のとおり可決されました。

## 常 任 委 員 長 報 告

○議長（稲垣昭義） 日程第4、常任委員会の調査事項に関する報告の件を議題といたします。

本件に関し、政策企画雇用経済観光常任委員会及び予算決算常任委員会から調査の経過等について報告いたしたい旨の申出がありますので、これを許します。

石垣智矢政策企画雇用経済観光常任委員長。

〔石垣智矢政策企画雇用経済観光常任委員長登壇〕

○政策企画雇用経済観光常任委員長（石垣智矢） 議長のお許しをいただきましたので、本委員会において、特に議論のありました事項について御報告申し上げます。

初めに、三重県人材確保対策推進方針（仮称）（中間案）についてであります。

県当局においては、人口減少の進展に伴い、生産年齢人口が大きく減少していく見通しの中、喫緊の課題となっている人材確保対策について、産学官がそれぞれ取り組む中期的な指針として、三重県人材確保対策推進方針（仮称）の策定が進められています。

人材確保対策の推進に当たっては、単にこれまでの延長で取り組むのではなく、産学官や全庁を挙げて行った議論も踏まえた新たな対策も含め、集中的に取り組を進めていく必要があります。

待機児童の解消をはじめ、子どもを産み育てながら働き続けることができる環境整備、人材の流出を防ぎ県内定着を図る取組、厳しい業界の声を踏まえた対応、スポットワークの活用を含め、働き手に選択される働きやすい環境づくり、企業が求める人材の育成などの取組を進める必要があります。

また、現在、三重県庁の若手職員の離職が多くなっており、県政運営の資本となる職員が三重県で働き続けたいと思える環境整備にも取り組んでいただく必要があります。

県当局におかれては、これら様々な課題への対応について、国において対応すべき事項は強く要望していただきながら、しっかりと取組を進められることを要望いたします。

次に、「ゼロエミッションみえ」プロジェクトについてであります。

県当局においては、カーボンニュートラルの実現に向けた取組を、産業・経済の発展につなげることを目的とした「ゼロエミッションみえ」プロジェクトに、全庁を挙げて取り組まれているところです。

今般、県有施設や県未利用地の太陽光発電設備の導入可能性調査が行われ、既存施設においては、構造上、設置に適さない施設もあることなどが判明したところです。

一方、新たに設置する施設に関しては、設計の段階から太陽光発電設備の導入を検討することが可能であり、「ゼロエミッションみえ」プロジェクトの推進に当たっては、こうした取組も含め、全庁を挙げた施策の舵取りを行うことが重要です。

このため、県当局におかれては、各部局において積極的に施策が推進されるよう、より一層、政策的な総合調整を図っていただくことを要望します。

最後に、大阪・関西万博に向けた取組についてであります。

令和7年4月13日から10月13日まで開催される大阪・関西万博は、2820万人が来場し、経済波及効果は約2兆円とされる国の一大プロジェクトであり、万博の好機を捉えて、本県の認知度向上及び観光誘客につなげることが重要であります。

県当局においては、大阪・関西万博に向けて、三重テラス in 大阪を設置し、関西圏における効果的なプロモーション手法の検証を行うなど取組を進められているところです。

今回行われた検証結果も踏まえつつ、県当局におかれては、忍者や海女、

伊勢茶をはじめとした食の魅力などを生かしたプロモーションや、本県を売り込むことにつながる物販の促進など、国内外の方に効果的に訴求できるような内容の充実を図り、戦略的に三重県の認知度向上に取り組んでいただくことを要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 小島智子予算決算常任委員長。

〔小島智子予算決算常任委員長登壇〕

○予算決算常任委員長（小島智子） 予算決算常任委員会における令和7年度当初予算編成関係の調査の経過について御報告申し上げます。

本委員会では、令和7年度当初予算関係の調査として、7月の令和6年版県政レポートに係る調査に始まり、10月から11月にかけて決算審査を行いました。

また、10月から当初予算編成に向けての基本的な考え方について調査を行い、今月には、本委員会及び各分科会において、各部局の当初予算要求状況について慎重に調査を行ったところであります。

本県の財政状況は、これまでの行財政改革取組により改善傾向にあるものの、団塊の世代が後期高齢者となり社会保障関係経費の増加が見込まれること、また金利の上昇や物価及び人件費の高騰などにより、先行きが見通せない状況が続いており、予断を許すものではありません。

このような財政状況の中、令和7年度は、県政運営の中期戦略計画であるみえ元気プランが4年目を迎えることから、プランに掲げた目指す姿の実現に向け、これまで以上に取組を加速させていく必要があります。

令和7年度当初予算編成に当たっては、先行きの見通せない状況下であっても、事業の効果や必要性を精査し、県民の命を守る取組をより一層進めるとともに、県民の暮らしのさらなる向上につながるよう、未来を拓く取組にも積極的に取り組み、未来志向の予算編成にも努めるよう要望します。

次に、当初予算要求状況に係る調査の過程において本委員会で特に議論がありました主な事項について御報告申し上げます。



12月6日の総括的質疑においては、待機児童解消の取組、不登校支援、県内企業の価格転嫁及び賃上げ支援、盲学校・聾学校の建て替えに向けた対応、大阪・関西万博に向けた取組、県有施設の照明のLED化への対応、当初予算編成に向けた今後の見通しなどについて活発な議論がありました。

県当局におかれては、これらの議論についても十分に留意し、令和7年度当初予算に反映できるものは最大限反映していただきますよう要望いたします。

以上、御報告申し上げます。

○議長（稲垣昭義） 以上で常任委員長の報告を終わります。

## 閉会中の継続調査

○議長（稲垣昭義） 日程第5、閉会中の継続調査の件を議題といたします。

本件は、総務地域連携交通常任委員会のほか6常任委員会並びに議会運営委員会の各委員長から、お手元に配付の閉会中の継続調査申出事件一覧表のとおり、それぞれ閉会中も継続してこれを行いたい旨の申出がありました。

お諮りいたします。本件はいずれも申出のとおり認めることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（稲垣昭義） 御異議なしと認めます。よって、本件はいずれも申出のとおり認めることに決定いたしました。

---

### 常任委員会閉会中 継続調査 申出事件一覧表

総務地域連携交通常任委員会

- 1 行財政の運営について
- 1 デジタル社会の形成について
- 1 地域振興の推進について
- 1 交通政策について

- 1 スポーツの振興について
- 1 県南部地域の活性化について
- 1 会計管理、監査その他行政運営の適正確保について

#### 政策企画雇用経済観光常任委員会

- 1 県政の総合企画調整について
- 1 国際交流について
- 1 雇用対策について
- 1 エネルギー政策について
- 1 産業振興（農林水産業を除く。）について
- 1 観光の振興について

#### 環境生活農林水産常任委員会

- 1 生活文化行政の推進について
- 1 環境保全の推進について
- 1 廃棄物対策について
- 1 農業の振興対策について
- 1 林業の振興対策について
- 1 水産業の振興対策について

#### 医療保健子ども福祉病院常任委員会

- 1 医療及び介護行政の推進について
- 1 保健衛生行政の推進について
- 1 子ども及び青少年の育成について
- 1 社会福祉及び社会保障の推進について
- 1 病院事業の運営について

## 防災県土整備企業常任委員会

- 1 危機管理及び防災対策の推進について
- 1 公共土木施設の整備・維持管理について
- 1 都市計画、住宅、その他土木行政の推進について
- 1 公営企業（病院事業を除く。）の運営について

## 教育警察常任委員会

- 1 学校教育の充実について
- 1 社会教育及び文化財保護行政の推進について
- 1 警察の組織及び運営について

## 予算決算常任委員会

- 1 予算、決算等県財政について

## 議会運営委員会閉会中 継続調査 申出事件一覧表

- 1 議会の運営に関する事項について
- 1 議会関係の条例及び規則等に関する事項について
- 1 議長の諮問に関する事項について

---

○議長（稲垣昭義） 以上で、今期定例会に付議されました事件は全て議了いたしました。

## 閉 会

○議長（稲垣昭義） これをもって、令和6年三重県議会定例会を閉会いたします。

午前10時27分閉会

□閉会に当たり、稲垣昭義議長、一見勝之知事は、それぞれ次の挨拶を述べた。

○議長（稲垣昭義） 閉会に当たりまして、一言御挨拶を申し上げます。

去る1月18日に開会いたしました令和6年定例会は、337日間の会期を終え、本日ここに閉会の運びとなりました。議員の皆様には、この1年間、提出されました諸議案をはじめ、県政の諸課題について、終始熱心に御審議いただくとともに議事運営にも格別の御協力をいただきましたことに、心より感謝を申し上げます。

今定例会における議案等の審議を振り返りますと、2月定例会会議では、子ども・子育て支援など5項目を重点とした令和6年度当初予算を審議・可決いたしました。

6月定例会会議では、能登半島地震を踏まえた県内の防災・減災対策強化に関する補正予算などを審議・可決するとともに、県内のスポーツ関係団体からの強い要望に基づき、第89回国民スポーツ大会及び第34回全国障害者スポーツ大会の招致に関する決議を行いました。

9月定例会会議では、令和5年度三重県水道事業会計決算をはじめとする企業会計決算を審議・認定するとともに、カーボンニュートラル実現に向けた自動車産業への支援の拡充等や、子どもの貧困対策等を踏まえた就学及び修学支援に関する制度の拡充などの意見書案等も審議・可決しました。

11月定例会会議では、令和5年度三重県一般会計決算や特別会計決算を審議・認定するとともに、国の経済対策に即応した緊急経済対策に係る補正予算を速やかに審議・可決しました。

当局におかれましては、これらの審議の過程において議員各位から述べられました意見、要望等を十分尊重し、今後も適切な県政運営に努められるよう、お願いいたします。

さて、本年5月の正副議長選挙において御推挙をいただいてから、早いもので半年以上が経過をいたしました。

この間、7月には、明和町において紀伊半島三県議会交流会議を開催し、

能登半島地震を踏まえた半島地域における防災・減災対策や、三県の防災力向上に資する紀伊半島アンカールートの早期整備などの着実な推進に向け協力・連携していくことなどで合意をし、9月には三県議会が共同で国に対する要望も行いました。

8月には、5回目のみえ高校生県議会を開催し、高校生議員から大変重要な質問や提案などをいただきました。9月定例会の行政部門別常任委員会にてそれらを取り上げて、参考人を招致して調査を実施したり、委員長報告を通して県への要望や意見を述べるなどし、高校生たちの思いの実現に向けて、新たな一步を踏み出しました。

また、所信表明でも申し上げましたが、本県議会がリードして、全国都道府県議会議長会で取りまとめられました多様な人材が輝く議会のための17の提言を受け、県議会として主権者教育の推進、県内経済団体に対する立候補や議員との兼業・副業をしやすくするための就業規則の整備についての要請、ハラスメント防止対策など三つの方向で取組を進めることができたと考えております。

本日、令和6年定例会が閉会となりましたが、明年1月20日からの定例会におきましても、二元代表制の一翼を担う議会として、県民の負託に応えるべく議会機能の充実と強化に努め、引き続き住民本位の政策決定や監視・評価、政策立案等に一層取り組んでまいりますので、皆様方の御協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

最後になりますが、議員各位並びに執行部の皆様には健康に十分御留意され、よい新年を迎えられますことをお祈り申し上げまして、閉会の御挨拶といたします。（拍手）

**○知事（一見勝之）** 閉会に当たりまして、私からも御挨拶を申し上げます。

今定例会は、先ほど議長もおっしゃいました1月18日の開会以来、本日まで約1年にわたり開催されまして、その間、議員の皆様方には終始御熱心に御審議をいただきまして、提出の全議案を議了いただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

令和6年は1月1日に能登半島地震が発生、8月には南海トラフ地震臨時情報が史上初めて発表され、また台風第10号は猛烈な雨をもたらし、県内で初めて緊急安全確保が発令されるなど、防災・減災対策の重要性を改めて認識する年となりました。このため、能登半島地震から得られた気づきを踏まえ、南海トラフ地震対策の強化に向けた取組方針を取りまとめるとともに、木造住宅の耐震改修等の支援や津波避難タワーの整備、三重県公式防災アプリの運用開始など、ハード・ソフトの両面の取組を進めてきました。

また、昨年を引き続き、中小企業等の事業者や子育て世帯の生活者への支援などを行っており、今定例会会議においても可及的速やかに補正予算を編成し可決いただいたところです。県内経済や県民の皆様的生活を守るべく、今後も必要な経済対策については可能な限り早期に対応してまいります。

予算とともに法令の対応も進めております。社会情勢の変化に伴う新たな課題への対応や県民の権利を守るため議会から御意見をいただきながら、条例の制定や改正の検討を進めてまいります。

また、大阪・関西万博や全国豊かな海づくり大会、さらに伊勢神宮の第63回神宮式年遷宮に向けて、プロモーション活動等をより一層推進してまいります。

議員の皆様方におかれましては、三重を愛する三重県人として県民一人ひとりの幸せのため、引き続き御指導くださいますようお願い申し上げまして、閉会の挨拶とさせていただきます。（拍手）

地方自治法第123条の規定により署名する

議 長 中 森 博 文

副 議 長 杉 本 熊 野

議 長 稲 垣 昭 義

副 議 長 小 林 正 人

署名議員 荊 原 広 樹

署名議員 伊 藤 雅 慶

署名議員 龍 神 啓 介